

特別支援学校

教科【美術】

単元【 美術：虫の写真を撮ろう 】

主体的・対話的で
深い学びのポイント身の周りにあるものから自分達で材料を選ぶことで、主体的に活動に取り組むことができる。
撮影した写真を相互に鑑賞することで、見方や感じ方を広げる深い学びにつながる。

ICT活用のポイント

クラウドで撮影した写真を共有することで、様々な視点の作品に触れることができる。

使用する
ICT機器

タブレット、HDMIケーブル、TV

使用するアプリ・
クラウドサービス等

カメラ・GoogleDrive・PowerPoint

クラウド
の活用
☐教材の配布・回収等
☐生徒の学習状況の把握
☒資料等の共有
☐その他（ ）
本時の
ねらい

・自分がデザインした虫の写真を撮り、鑑賞した作品の感想を言うことができる。

主な学習活動
(学習場面)

I C T の活用・留意点等

評価

導入

- 本時の活動を
確認する
- 材料を生徒に
提示する

一斉



PowerPointを使用して
生徒に手順を伝える。
過去の作品を例として
提示し、イメージをし
やすくする。



ICT機器

指針3

指針4

指針5



展開

- 作品を制作す
る
- 作品を好きな
角度から撮影
する
- 作品の写真を
編集・加工す
る

個別

個別

個別



教室にあるものを土台にし、モールやお
はじき、テープなど置いてある材料を選んで
貼り付ける。



タブレットを使用して撮影を行う。

指針2



背景を透過させて画像と結合する。



指針2



撮影した写真をクラウドサービスに学級
ごとまとめてアップロードする。

クラウド

指針1

指針3

ここで評価

終末

- クラウドサー
ビスの作品を
鑑賞する

協働



作品を鑑賞しながら、感想を話し合う。

クラウド

【思】作品の良
かった部分などを
話すことができる。

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】＝知識・技能 【思】＝思考・判断・表現 【態】＝主体的に学習に取り組む態度